



神奈川大学フロンティアクラブ会報

発行日 2021年12月20日
 編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ
 組織・広報専門委員会
 事務局 神奈川大学 総務部校友課内
 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 TEL.045-481-5661(代)
 FAX.045-481-2741

第 36号



久しぶりに対面で役員会を開催しました

サロンの充実とクラブの活性化を

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。2021年度もコロナの災禍により目まぐるしい変動の年となりました。フロンティアクラブとしては開拓者精神を忘れず、事務局と共に検討を重ねながら、今できる活動とは何かを模索して参りました。

フロンティアクラブ会長
村田 龍也

対面での行事開催が叶わない中、フロンティアサロンをオンライン配信に切り替え実施する試みもその一つです。インターネットで参加できるようにになり、今まで距離的な制約のため参加できなかった遠隔地の会員の皆様も参加できるようになりました。これを機会に無料で、学生や一般の皆さんにもご参加いただけるよう門戸を広げました。その効果も、近年停滞気味だった参加者数も会を追うごとに増加し、第122回(本年12月)サロンでは、申込者が初めて100人を超えるまでとなりました。

た。アンケートでも好意的な感想を多数いただき、当クラブの存在を広く認知していただけたことと思います。

さらに、サロン開催後にYouTubeに映像をアップする試みにより、いつでもご覧いただけるアーカイブとして二次利用できる体制も構築しました。今後は、これらを貴重な資産として積極的に活用して参ります。

奨学金給付等を通じ、さらに大学・学生をサポートし、有意義な活動を展開して参ります。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。会員の皆様とご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

組織・広報専門委員会の活動報告

組織・広報専門委員会は今年の8月と11月の2回、オンラインと対面で開催しました。フロンティアクラブをより魅力のあるものにするために、今後は会員同士が繋がるきっかけ作りを強化して参りたいと考えています。既に箱根交流会ではゴルフやテニス、山歩き等を通して親睦を図っています。これからは現役の

会員の方々も参加しやすいイベントの開催も検討して参ります。更に企業紹介等により、会員同士がビジネスで繋がる機会を提供し、会員としてのメリットを感じて頂けるような仕組み作りも検討して参りたいと思います。会員の皆様からのご意見等がございましたら、是非お聞かせ下さい。宜しくお願いいたします。

奨学金等協力専門委員会の活動報告

当委員会は今年度、事務局の積極的な後押しもあり、全員参加型の意欲的な委員会に変貌しました。コロナ禍ということ、オンラインでの開催でしたが、

の方に募金を依頼していくと同時に、新たな募金活動策を検討する②は、奨学生・OB・OGの現状把握の精度を高めるとともに、各種座談会及び交流会の開催や奨学生のニーズ把握のためのアンケート、HP等の環境作り等々、一定の方向性が出ました。今後は、その具体化を著実に進展させていく予定です。どうか会員の皆様のご支援を宜しくお願いいたします。

産官学共同専門委員会の活動報告

産官学共同専門委員会は今年度2回オンラインにて開催しました。

具体的には①各委員会との連携を図り、多くの情報を活動に活かすこと②会員（会社や組織を含め）の求めに応じた交流の場（機会）を設けること③新たに業種別に分類した会員名簿を作り会員の皆様に活用いただくことなど、主に3点について検討し、その他フロンティアサロ

ンの講演内容や運営方法、学生支援のためのオンラインイベントについて話し合いました。

「伝統は一日にして成らず」現状を直視し、将来に向けた日々の積み重ねを大切にし、より多くの会員の母校愛の醸成と強化につなげたいと考えております。皆様からのご意見を参考に寄せてください。よろしくお祈りいたします。

「村橋精神」に感謝

令和3年度村橋・フロンティア奨学生から寄せられたお礼の言葉を紹介します。

国際文化交流学科2年／男子学生 メディアコンテンツ制作目指す

この度は、「村橋・フロンティア奨学生」に採用していただきまして、ありがとうございます。採用された他の皆さんもきっと思われたと思いますが、通知が来た時は「まさか自分が」という気持ちでした。今まで、授業を休まなかつたり、課題を期限までに提出

したり、板書をしっかりとするなど、一般的に「当たり前」とされていることを継続できた結果が目に見える形になったことが嬉しく思います。採用していただきまして、ありがとうございます。

私は、本学に「指定校推薦」の枠で入学しました。高校3年生の9月に、周囲より一足早く進路が決定し安堵の気持ちでいっぱいでした。しかし、一般入試で目標の

学校に入学しようと奮闘している周囲の友人との温度感に差が生まれ、「私はこのままで良いのか、私は周囲より劣っているのではなか」とふさぎ込み、それは本学に入学した後も続きました。

加えて昨年はコロナ禍の措置にて全てが遠隔授業に代わり、孤独感も増す状況の中、私はとある授業のレポートの批評で、「授業への真面目な姿勢が汲み取れて、とても素晴らしいレポートでした」という評価を先生から頂くことができました。その言葉が、私の感じていた劣等感を吹き飛ばしてくれたと思います。

今は、国際文化交流学科の「言

語・メディアコース」に所属し、昔から好きだったテレビやラジオなどのメディアを中心に勉強をしています。「メディアのコンテンツ制作に関わる仕事に携わりたい」という将来のビジョンも少しずつ見えてきました。学びたかったことを見つけ、それを達成できているので、非常に充実した学生生活を送ることができています。

こうして奨学生に選んでいただいていたのは、「当たり前」を継続してきたよかったですということ。私は周りとは違って何か光るものを持っているわけではありませんが、それでもこうして少しだけ変わることができました。もし、

これを読んで頂いている方で、私と同じ気持ちを抱いている方がいたら、まずは目の前の「当たり前前」を継続して行ってみてください。きつと、こうしてチャンスの手を差し伸べてくれる人がいると思います。

また、私はこのことを自信に、将来の夢に向かってこれからも努力していこうと思います。この度はありがとうございます。

英語英文学科2年 / 女子学生
日々「当たり前」が変化する中で

この度は村橋・フロンティア奨学生に採用していただきまして誠にありがとうございます。2020年に続き、2021年もコロナの影響は大きく、夢見ていた大学生活とは異なる部分や窮屈な思い、当たり前前ができませんでした。この奨学金での支援を基にもう一度自身の夢や挑戦したいことを見直し可能な範囲で勉学に励みたいと思います。

私は外国語学部所属しており、二年前にアメリカに留学予定でした。そのため、昨年度1年間語学を中心に勉学に励んできました。前期から後期に延期された留学を期待していましたが、それも叶わず、今年の後期にオンライン

留学という形になりました。正直なところ、現在の学科コースに入学を決めたのもこの留学が一番の理由だったので悔しさでいっぱいです。去年に引き続きパソコンでオンライン上の海外の大学の授業を受ける形態で「留学」します。

まだ将来の希望する職業ややりたいことは明確ではありません。大学では、興味がある分野の一つであるエンターテインメントやイベントを通じた人とのコミュニケーション・交流について海外に目を向けて研究していきたいと考えていました。そのためエンターテインメントの本場アメリカに一度足を運びたいと思いました。しかしこういった人との関わりや業種で言う観光系なども、コロナで状況が大きく変化してしまいました。

オンライン留学のプログラムも金銭面で負担になっていきますが、コロナが落ち着き海外への渡航が可能になったら必ず一度は渡米を実現させたいです。その時のためにも奨学金にも感謝をし、このオンライン留学を無駄にさせず前向きに励みたいです。

この奨学金に応募した理由として、両親への今までの感謝や経済的負担を減らしたいと思いました。私は高校時代、1年間留学必須の国際科に所属していました。幼少

経済学科1年 / 女子学生
ウェブマーケティングなどの勉強に力

この度は村橋・フロンティア奨学生に選んでいただき、心より感謝申し上げます。多くの志願者の中から私を選んでいただいたことを、大変光栄に思っております。

母一人で私と高校生の妹を育てることは金銭的にも苦勞をかけており、私立大学への進学を悩むこともありました。しかし、母の「学びつづける姿勢を忘れないでほしい」という熱い思いと、私の将来の進路実現を目指すために本校への進学を志しました。しかし、貸与型奨学金とアルバイトのお金で学費を捻出しながら学業と両立することの大変さも、この約半年で身をもって実感させられました。だからこそ、今回採用の連絡をいただいた時は嬉しさのあまり涙がこぼれ落ち、母に最初に連絡を入れました。私も母もまさか採用していただけたとは思っていませんでした。この充実した支援を受けることができたことも、改めて嬉しく思

っております。

現在はウェブマーケティングやTOEICの勉強にも力を入れております。コロナ禍における予測不能な社会を生きる上で、今までと同じ既存の社会のあり方ではないかと考え、ウェブマーケティングの勉強を始めました。「計画を立てて実行する。そして企画をまた修正する」という繰り返しの作業は非常に根気が必要であり、自身の実力に無力さを覚えることもあります。「自分の未来は自分で切り拓いていくのだ、これからの社会は私たちがつくっていくのだ」という強い志、信念を忘れずにより一層学びに力を入れております。

村橋・フロンティア奨学生に採用していただいたことで、「決して慢心することなくより、一層気を引き締めて勉学に励み、感謝の気持ちを忘れずに、社会に貢献できる人へと成長するのだ」という意識を強く持つことができました。

これからも村橋・フロンティア奨学生の名に恥じることがないよう、日々精進して参りたいと存じます。この度は誠にありがとうございます。

村橋・フロンティア奨学金

期から英会話教室に通っており、海外に興味があり1年間の留学を実現することができました。私のやりたいことを最優先して応援してくれた両親のおかげです。決して金銭面に余裕があったわけではないのですが、「留学してみたい」という私の一言や思いを大切にしてくれたからです。私も20歳なので両親のバックアップに頼らず、今回のような奨学金の申請などで自分のできることで恩返しをしたいです。

最後になりましたが、奨学生に採用してくださったおかげで自分の勉学や家族への感謝、恩返しを実現することができました。非常に感謝しております。これからの大学生生活や勉学にもしっかり励み、状況がどう変化するかはわかりませんが、日々の社会の状況に応じることのできる人間になれるよう日々精進して参ります。最後に、村橋・フロンティア奨学金に関わる全ての方の心身の健康を祈念します。この度は本当にありがとうございます。ございました。

法律学科1年/女子学生

夢は検察官 司法試験に挑戦

はじめに、この度は村橋・フロンティア奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。

多くの志願者の中から選んでいただき、とても嬉しく思うと同時にもう一度感謝を述べたいと思います。本当にありがとうございます。

私は高校生の頃から検察官になりたいという夢を持ち、大学生になった今でもその夢は変わっていません。私は高校生の頃に、大学生になったら法学部に入學し、法律の勉強を頑張りたいと考えていました。そして現在、私は神奈川大学の法学部に入學し、法律の勉強ができることをとても嬉しく思います。大学卒業後は法科大学院に通い、勉学に精進し、法律への知識を深め、司法試験に合格したいという夢があります。しかし、大学に4年間通い、大学院に2年間通うと考えると、経済的な面でもとても大変なことであると思います。

家庭の事情により、私の両親は別居中であり、父親には2、3年間全く会っておらず、大学の学費は父親から全く貰わずに大学に通おうと決まっています。母親は私と一緒に暮らしており、働きながら今まで私のやりたいことを全て応援してくれました。しかし、大学の学費となると、母親だけに頼るといっても限界があり、自分自身でアルバイトもしていますが、賄いきれる金額ではありません。

国際経営学科2年/女子学生

積極的に学校内外で活動も

この度は村橋・フロンティア奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。村橋・フロンティア奨学金の採用決定の連絡をいただいた際、驚きと嬉しさで胸がいっぱいになったのと同時に、奨学生としてより一層勉学に取り組もうと改めて決意いたしました。いただきました奨学金は学費として使わせていただきます。

私の父が勤める漁港では年々、漁獲量が減少しており、漁獲量の減少と共に収入も減少しています。元々収入が少なかったのにもかかわらず、さらに収入が減少しています。母も家計を支えるために働いているのですが、妹も進学を考えているため、家庭の教育費の負担が大きくなってきており、家計状況が厳しい状況にあります。私は、少しでも家計の負担を減らすためにアルバイトをしているのですが、新型コロナウイルスの影響により、収入が少なく、ほとんど力になることができていませんでした。また、アルバイトによって勉強時間の確保が難しく、満足のいかない学習が多々あった

ため、勉学の不十分さに嫌気がさすこともありました。そのため、この度奨学生に選んでいただいたことにより、勉学に集中する環境となり、家計の負担も減らすことができるため、本当に嬉しく思います。

恥ずかしながら、現時点では将来の夢が漠然としているため、学校内外の活動に参加したり、勉学により一層取り組んだりすることで、将来の選択肢を増やし、将来の夢をより明確にしていきたいと考えています。

最後になりましたが、改めて村橋・フロンティア奨学生に採用していただいたことに心から感謝申し上げます。村橋・フロンティア奨学生としての責任と誇りを持ち、資格取得や勉学に励むだけでなく、学校内外の活動にも積極的に参加し、経験を積んでいきます。口だけではなくしっかりと行動に移すことで、神奈川大学フロンティアクラブの皆様への感謝の意を表していきたいと考えております。

奨学生に選んでくださった皆様や家族に感謝し、立派な社会人になれるように努力します。この度は誠にありがとうございます。ありがとうございました。

大学の学費は奨学金をお借りして、大学に通おうと考えていました。しかし、貸付型奨学金は将来、自分が全て返済しなくてはならないものであり、とても大変なことであると思います。だからこそ、村橋・フロンティア奨学金はとてもありがたく、私を含め学費に困っている学生にとってなくてはならないものであると思います。

今回、村橋・フロンティア奨学生として採用していただいたことで、検察官になるために頑張りたいという気持ちがより一層強まりました。検察官になるためには司法試験に合格するなど、決して簡単なことではないと思います。しかし、努力を惜しまず挑戦したいと思います。

村橋・フロンティア奨学生として誇りを持ち、今後も勉学に励むと思います。村橋・フロンティアクラブの皆様が私を奨学生として受け入れて下さったことへの感謝を忘れず、期待に応えられるように今後も頑張ります。私を村橋・フロンティア奨学生として採用していただき、本当にありがとうございます。

**国際経営学科1年 / 女子学生
奨学生に相応しい態度で**

この度は村橋・フロンティア奨

学生に採用していただき、誠にありがとうございます。神奈川大学フロンティアクラブの皆様、村橋・フロンティア奨学金に関わる皆様に心より感謝申し上げます。採用決定の連絡を頂いた時、非常に驚き、嬉しく思いました。また、その感情と共に、奨学生として相応しい態度で勉学に望むことを決意しました。

今回の村橋・フロンティア奨学金は学費の一部に使わせて頂きたいと考えております。私の父は、私が幼い時に心臓の病に侵され、大病院への入院を繰り返しています。今年の1月には人工補助心臓をつける手術を行なったため、今は自宅療養をしています。そのため、仕事をすることができず、金銭面は厳しい状態にありました。また、兄も大学に通っているため、両親の負担はとて大きいのが現状です。父の自宅療養は今年の春からで、神奈川大学に進学が決まったからの出来事だったため、私は「どうすれば、両親の負担を減らすことができるのか」と日々考えていました。そこで思いついたのがアルバイトでした。しかし、アルバイトはわずかな額しか稼ぐことができません。また、勉強時間確保が難しくなり、アルバイトだけでは難しいと考えました。

この度は村橋・フロンティア奨

**中国語学科2年 / 女子学生
日本語教員と社会教育の
資格取得を目指す**

この度は村橋フロンティア奨学生に採用して頂き、誠に有難うございます。多くの志願者の中から私を選んで頂いたこと、大変嬉しく思います。

私は新型コロナウイルスの影響で、一年次の一年間をオンラインという形で過ごしました。また二年次も、全ての授業を大で受講できる状態ではなく、高校生の時に思っていたようなキャンパスライフを送ることとはなかなか難しいです。しかし、このような状況を体験し、私は様々なことを考えました。まず、当たり前というものは存在しないということです。そのため、日常生活を送ることが出来、そのうえ授業を受けることが出来るということの有難さを再認識しました。またその有難さを感じたことから、一回の授業を、以前よりも大事に受けるように心掛けていました。このことから受け身で授業を受講することが減ったことで、自身の知識と視野が広がったように感じています。

自身の見えていた世界が狭か

ったこと、また自分には見えていない部分が多くあることを知り、これからも進んで物事を知る努力をし、視野を広げていきたいと思っています。そのように思ったことから、二年生になった時に、日本語教員と社会教育という二つの資格の授業を取ることに決めました。何故なら、現在はこのような状況下のため、海外の方と関わる機会は少ないですが、新型コロナウイルスが終息した後に、海外の方が日本で学びたい、日本語を学びたいと思った際に少しでも学びやすい環境作りが出来るようにしたいと考えたからです。また社会との連携を取ったり、社会が少しでもすべての人にとって暮らしやすい場所になって欲しいと考えました。

新型コロナウイルスの影響で、多くの人の心は疲弊しているように感じています。そこで私は少しでもより良い環境を作って、人々が安心して、楽しく過ごすことが出来るよう行動していきたいと思っています。そのため私は日本語教員と社会教育の勉強をしてみたいと考えました。そのようなことが出来るように、今後も勉学に励んでいきたいと考えています。

村橋・フロンティア奨学金

そのような時に村橋・フロンティア奨学金の存在を知りました。数多くの志願者がいることを知っていました。採用の可能性を感じて、志願しました。このような機会をくれた方々に、今一度心から感謝を申し上げます。

最後になりますが、村橋・フロンティア奨学金に関わる方々、両親に感謝しこれからも勉学に励みたいと考えています。資格取得や留学にも挑戦し、期待に応えらるる4年間を送っていいこうと思います。この度は本当にありがとうございました。

生物科学科1年／女子学生

遺伝子分野の研究者目指す

この度は数多くの志願者の中から、村橋・フロンティア奨学生に採用して頂き、誠にありがとうございました。

父の会社は新型コロナウイルスの影響で経営が非常に厳しい状態が続き、収入に大きく影響している状況です。私も、できる範囲でアルバイトを考えておりましたが、コロナ禍でアルバイトをするのも難しい現状でもあります。その中で、この「村橋・フロンティア奨学金」に採用して頂いたおかげで、私の大学院まで進学したいという希望に1歩でも近づけることができ、

また、学ぶ時間も沢山とれることに変感謝しております。

私は、遺伝子分野の研究者を目指しています。ネットワークが高度化している今、医療関係の動画や記事を簡単に目にする事ができます。その様な環境の中で、未だ治すことが不可能な病気があること、また難病と言われる病気があることに興味を抱きました。その中で特に先天性の病気が気になり、色々と調べていくうちに遺伝子が深く関係しているのではと考え、この分野について深く探究していきたい気持ちを持つようになりました。そして現在、大学では、生物科学科に所属し、生命について基礎的なところから幅広い分野を学んでいます。

一つの分野だけでなく様々な分野を学ぶことで多角的な視点を養うことができ、大変勉強になっております。このまま神奈川大学の大学院まで進みたいという希望をもち、勉学に励みたいと思っております。常に進歩している医療ですが、その中の遺伝子分野をより進歩させることを私の目標とし、社会貢献していきたいと思っております。

最後になりますが、神奈川大学フロンティアクラブの皆様、村橋・フロンティア奨学金に関わる皆様

に熱く御礼申し上げます。故村橋氏の精神を引き継いでいくことを肝に銘じ、採用して頂いたことへの誇りを持ち、大学生活を送っていききたいと思っております。

建築学科2年／女子学生

夢の実現に役立つ知識を

この度は村橋・フロンティア奨学生の一人に採用していただき誠にありがとうございました。村橋・フロンティア奨学金を設立された村橋三好さんをはじめ、神奈川大学フロンティアクラブの皆様、関係する全ての方々に心から感謝申し上げます。

私には小学生の頃から、建築家になって理想とする住まいを自分の手で一からつくりあげるという夢があります。子供の頃から図画工作が大好きで暇な時間には絵を描いたり、家の中にあるいろいろなもので立体作品を作ったりしてよく遊んでいました。また、毎週放送されていたテレビ番組の影響から建築家やデザイナーの人達の存在を知り、その働く姿がカッコいいなど思ったのがきっかけです。そのため、建築をこれから学ぶために高校卒業後の進路はそういった勉強ができる学校に必ず進学したいと心に決めていました。しかし金銭的な問題から大学、もしくは

専門学校に進むかのどちらかで両親と何度も話し合い、衝突することも少なくありませんでした。何故なら、両親共働きとはいえ安定した職ではなく、収入が不安定なため、いつ暮らしが急変してもおかしくない状況にあるからです。

贅沢なことかもしれませんが、私は職業に直接的に関わる分野だけでなく、視野を広げるために大学に進学することを希望していました。けれども、多くの大学は四年制であるため経済的負担がかなり大きいことが現実でした。そういった厳しい状況下でも学費を補ってくれている両親と、入学してから現在に至るまで毎月学費を貸与してくださる学生支援機構、この二つの支えにより大学に通うことができています。好きなことを勉強できる日々を送れていることは幸せであり、決して当たり前のことではありません。感謝の気持ちは常に忘れてはならないと思えました。

最後に、残り2年半の大学生活を村橋・フロンティア奨学生として恥じることのないよう、より一層勉学に励み、夢の実現に少しでも多く役立つ知識を身につけていきたいです。本当にありがとうございました。

フロンティアクラブ会員紹介



紺野 尚久

国際交流ボランティアとして再始動

本年から神奈川大学フロンティアクラブへ入会させて戴きました。大変光栄に存じております。今から半世紀以上前のことになりましたが、在学中は憧れの信太ゼミに所属し、そこでの研鑽が将来、教職の道へ進む転機となりました。

義内容に魅了され、毎回聴き取った全講義録ノートは今でも私の宝物となつています。信太ゼミで特に忘れがたい思い出は、三年次の長野県地獄谷温泉での冬合宿ゼミです。浴衣姿で車座になって先生を囲んでの憩いの晩は至福の時間でした。先生の青春時代、東大から京大への転学、インド哲学のこ

とや中国大陸での戦争体験、人生観など夜が更けるのも忘れ聞き入ったことが、今でも脳裏に焼き付いております。露天風呂に先生とご一緒したことも覚えております。卒業後は、二年間民間会社勤めを経て教職生活に入りました。以来、教職一筋。その道で得た確信は二つあります。「愛情をもって信じてこそ子どもは伸びる」「日本には多様な人達と生活できる共生社会が必要」。

二年前に退職した私は、今、国際交流に貢献できればと日本語ボランティア講師を目指し研修中です。この四月、神大みなとみらい



河村 和久

神大生よ、海外雄飛を志せ

入学した77年当時は学生運動の残りがあり、在学5年中(一年間は自主休学ですが)3年間は授業料値上げ反対と社会に対する不満が学内に注ぎ込まれ、試験はロツクアウトでレポートでした。コロナ時代のリモートの先駆けに似ておりますが(正直、出席率の悪い学生には助かりました)。

入学当時、九州の田舎から出てきて、希望とは違う大学への入学であったため、あまり授業にもで

ず、色々悩んでいたような記憶があります。「CHANGE GAME」は、大学祭を機に入部した海外研究部(海外移住研究部)でした。ブラジルをはじめ海外移住した先輩、尊敬に値する諸先輩・同輩との出会いでした。今は、跡形もないようですが、図書館横のクラブ長屋には毎日通っておりました。毎日100円したキオスクの紙袋に教科書をいれてスリッパで登校はするのですが、授業には出てお

りませんでした。ただ、クラブ活動はいたってまじめで、毎日「国際人とは」「海外移住とは」等々、議論の日々でした。当時の夢は海外で働く駐在員になることだったようです。間違いなくあの議論の毎日、会社人生で有益だったようです。幸い会社のグローバル化に伴い、私も20年ほど海外生活を体験しました。その中で、アメリカ人・インド人・中国人・異文化の人の中で働き、時には厳しいことを言い合ったり、勇気を与えあったり、様々な経験をしました。ひと昔前の(男は黙ってなんとかビル)の宣伝の時代は終わり、得てして日本人が不得意な言いた

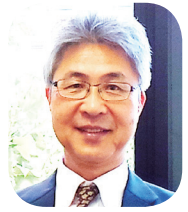
キャンパスが開校し国際日本学部が誕生したこと、何かご縁を感じております。フロンティア会員の皆様、よろしくお願い致します。

1946(昭和21) 福島市飯坂温泉生まれ。1969(昭和44) 貿易学科卒。同年、東部芭蕉卸売協同組合入社。1972(昭和47) 埼玉県八潮第四小へ赴任。以後35年間、埼玉県と群馬県の公立小学校で教諭、教頭、校長を歴任。定年退職後、群馬県邑楽町で公立幼稚園、保育園、こども園で園長歴任。2019(令和元年)。退職。

いこと、伝えたいことを「言う」「伝える」この姿勢を学んだと思いません。いまは、海外駐在を希望しない若い社員が多いと聞いております。古い言葉になりますが、神大生には是非様々な意味で海外雄飛を志してもらいたいと思えます。最後に、会社で出会った神大OB、様々な場面で知り合った神大OBから希望と勇気をもらいました。ありがとうございます。

1958年大分県生まれ。82年貿易学科卒。同年、近鉄航空貨物入社(現 近鉄エクスプレス)。在職中は米国、マレーシア、インド、シンガポールに通算20年海外勤務。本年6月、上席執行役員で退任。

フロンティアクラブ会員紹介



國宗 勝彦

営業、監査役…あつという間の43年

昭和54年、経済学部貿易学科卒の國宗勝彦と申します。現在はQBチーズでお馴染みの六甲バター株式会社(本社・神戸市)で常勤監査役を務めております。神奈川県大学在学中は空手同好会(後の琉球拳法部)に所属し、日々を体の鍛錬に明け暮れていました。今振り返ってみても勉学に勤しんだ時間は少なかつたと反省しています。私は出身が香川県高松市で、大学入学までは県外へ出た経験も殆どなく、そんな田舎者が横浜という都会で一人暮らしを始めたので、当初は大変なカルチャーシヨ

ックを受けたものでした。戸惑う事も多く心細くもありましたが、私の回りには同じような境遇の者も多くいて、そのような連中とはすぐに打ち解け、四十年以上が経過した今でも付き合いが続く掛け替えのない友人達となっています。私が四年間の学生生活で得たものは、多くの友人と先輩諸氏、後輩達でした。そのような人達との交流により自分自身の世界観も広がり、社会の在り方なども学ぶ事が出来ました。何よりも青春時代のひと時を明るく楽しく過ごせたと、その後の人生の心の支えとなるよ

うな経験が数多く出来た事が今でも貴重な財産となっています。卒業と同時に六甲バター(株)に入社し、営業職で三十七年、監査役として六年間があつという間に過ぎました。営業マン時代は転勤により全国各地を経験しましたが、ちょうど八年前(東京支店店長在任中)、かつての「空手の恩師をしのぶ会」を大学近くで執り行なう事となり、当時共に汗を流した仲間達が久しぶりに集まる機会がありました。皆さん年を取ってはいませんが、顔を見れば学生時代に思い出話に花が咲きました。「光陰矢の如し」とは申しますが、私にとつて神大生時代はつい昨日のようにも感じられ、懐かしくもあり喜びでもあります。

近年、我が神奈川大学は「みなとみらいキャンパス」も開校し、益々大きく発展しています。卒業生として誇りに思うと同時に、自分自身も尚一層の研鑽を重ね、神大卒業生として恥ずかしくないように過ごしたいと考えています。1979年貿易卒



私の勤務先の六甲バター(株)は厳しい経営環境では

ありますが、来期は新上場区画のプライム市場への申請を計画する等、全社一丸となつて難局に取り組んでおります。今後もしもご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



森山 寛樹

イノベーション推進部で責任者に

学生時代は、アルバイトをしながらの学業で、忙しいながらも大変充実した学生時代を過ごさせて頂きました。大学で学んだ貿易論は、現在の会社でバイイング業務に携わった際に大いに活かされました。また、アルバイトでは、多

くの人との出会いの中で社会人になるに当たつて必要な経験を積むことが出来ました。大学生時代に学んだ様々なことが、現在に至る仕事の支えになっております。また、学生時代を過ごした横浜は、様々な友人との出会いもある

り、私にとつて第二の故郷になりました。今でも年に何度か学生時代を思い出して、横浜の地を訪れ、六角橋周辺や横浜駅、桜木町駅周辺を散策する事を楽しんでます。卒業後は、地元のスーパーマーケットに就職しました。現在は、地元新潟だけでなく、長野・富山・群馬・埼玉・栃木県に130店舗を出店する規模に拡大しております。入社後、店舗の部門担当者から始まり、店長やバイヤーを始め

とする本部の複数部署を経験し、今は、その親会社であるホールディングス会社のイノベーション推進部で責任者を任せられ、全社改革に関わる業務を中心に行なっております。プライベートでは、ランニングが趣味で、会社のランニングクラブにも所属して各地のマラソン大会に出場しております。数年前には横浜マラソンにも参加し、フルマラソンを3時間30分で完走しま

箱根交流会代替イベント

和気あいあい楽しく 素晴らしいゴルフ会



11月26日晴天の中、足柄森林CCに16名が参加。以前の箱根交流会の時は、御殿場インターに近い富士CCで行っておりましたが、東名高速のスマートインターが出来たことよって会場を変更しました。当時は会費千円を取り参加賞を出しておりました。今回の代替イベントでは会より2千円を拠出頂き参加賞も2品、加えて参加者からの賞品の提供もあり、みなさん笑顔でお土産を持って帰宅。和気あいあい楽しく素晴らしいゴルフ会となりました。今後このような形で企画出来れば、参加者も増えるのではないかと思います。上手な方もそうでない健康志向の方も今後は非ご参加ください。

した。この度、縁があり、神奈川大学フロンティアクラブに入会させて頂きました事を大変光栄に思

テニスで運動不足や ストレスを解消



健康志向の 実方誠一（昭和48年 工経卒）

今回も代替行事となり、山歩きに参加しようかと思っていたところ、事務局からテニスはどうか？との電話。折角のお誘い、喜んで参加することにしました。冬の高地なので日陰と風は冷たかったけれど快晴でした。優しい管理人の誘導で開始時間には全員が揃いました。久米さん、間中さん、今田さん、鏡川さんと私の5人です。久米さんの進行計画に従ってプレーを開始しました。

経験者の久米さん、間中さん、今田さんはさすがに素晴らしいラリーでした。素人の鏡川さんと私ですが楽しくテニスをさせていただきました。ダブルスで一人が休

っております。神奈川大学OBの皆様との交流を楽しみにしております。今後ともどうぞよろしくお

山歩き、散策の会 天照山の紅葉と滝めぐり



西脇 幸二（昭和53年 貿易卒）

憩。やっと休めたと思いきや休憩後の体は冷え切り、思うように動けず大変でした。何はともあれ久々のテニスで楽しく日頃の運動不足とストレスが解消できました。

山歩き、散策の会は、神奈川県湯河原天照山ハイキングコースの大滝をめぐるルートでした。参加者は、クラブ会員と事務局職員の計7名でした。コースは、晩秋の季節を感じる枯れ草や落ち葉が降り積もった山道を歩き、紅葉したモミジや黄色く色づいたイチヨウ葉を見ながら奥湯河原バス停から天照山神社を経由して、落差50m以上ある白雲の滝近くまで登り、

願いたします。1973年生まれ。新潟県生まれ。1996年経済学科卒。同年

(株) 原信入社。現在は親会社であるアクシアルリテイリング(株)に勤務。

下りでは登った山道とは逆のルートで奥湯河原近くの落差20m程度の不動滝をめぐるルートでした。歩行距離は約9kmで、歩行時間は休憩を含め約3時間30分。下山後は、万葉公園近くで美味しい昼食をいただいて、日帰り温泉に浸かり、かいた汗と身体の疲れを取り、湯河原駅前で解散いたしました。老若男女に相応しい山歩きができる最高の山歩き、散策の会でした。小林照夫氏には山歩きの見どころやマナーを教えていただき、職員の方々には健康面でサポートしていただきました。次回の山歩き、散策の会も楽しみにしています。

岡田 繁（昭和43年 応化卒）

今回の箱根交流会代替イベントの活動の様子が分かる動画を左記のQRコードよりご覧いただけます。今回は、「山歩きの会」の様子をお届けいたします。

これまでご参加頂いたことのある皆様も、まだご参加したことがない皆様も是非、次回ご参加頂ければと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



水泳部

インカレ女子総合2連覇

東京辰巳国際水泳場で開催された第97回日本学生選手権水泳競技大会（インカレ）において、私達水泳部は昨年度王者の誇りを胸に日本一の栄冠を再び勝ち取る事が出来ました。今年は、4月の東京オリンピック選考会でチームの目標であった日本代表の輩出を達成する事が出来ず、悔しさと大きな挫折から新チームがスタートする形となりました。そのような状況のなかで、私達がインカレに向かって行くことが出来たのは、昨年度の4年生とのある約束があった

からです。その約束は、真の日本一に、という言葉です。

昨年は、コロナ禍でのインカレ開催であったため私達も、また多くの大学でも十分な練習を行うことが出来ていませんでした。「コロナ禍だから日本一という風に言われたくなかったこと、何よりも昨年の先輩や今まで神大の歴史を創って来てくださった卒業生の方々が日本一である事を証明したい」。これらが私達現役生が二連覇を達成したい理由となりました。現在の学生は、卒業生の方々と交流することが少なくなっており、水泳部の歴史や歴代の先輩方の想いをなかなか伝えられていなかった中、ZOOMを活用して卒業生の方々にお話を伺う機会を設けたことやメッセージ動画などで想いを聞かせていただきました。これらの先輩方の協力のおかげで、二連覇を達成したい理由から二連覇を必ず取りに行くという決意へと変わって行きました。

迎えたインカレ本番では、昨年優勝校という重圧の中、なかなか好記録は出ませんでしたでしたが、競っ



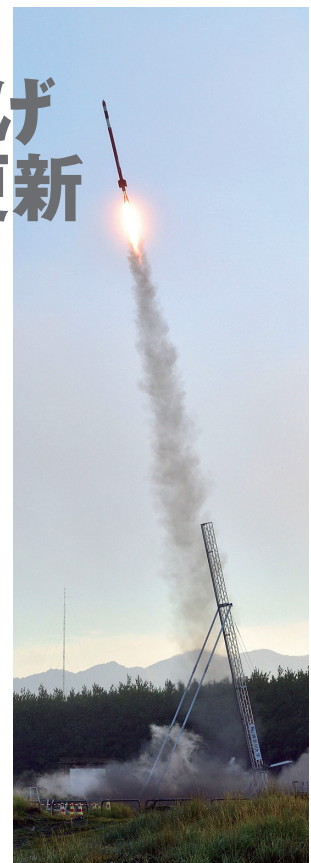
「第97回日本学生選手権水泳競技大会」
女子総合2連覇達成しました

宇宙ロケット部

ロケット打ち上げ
日本新記録を更新

2019年度はエンジンが破裂するトラブルに見舞われ、機体が完成しているにもかかわらず打ち上げを断念し、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン活動を余儀なくされ、エンジントラブルの改善すらできずに終わってしまいました。限られた活動の中、原因を検証し何度もエンジンの性能テストを重ねることで、今年に入りようやくエンジンの燃焼に成功し、秋田県能代市でハイブリッドロケット打ち上げ試験を実施することができました。

打ち上げ試験は、大型台風の影響で打ち上げ日程の決定についてはギリギリまで難航し、打ち上げ2時間前の午前4時時点で、地元



3年分の思いを大空へ
ハイブリッドロケットの飛翔実験

の漁師さんの判断のもとようやく打ち上げを決行できることとなりました。

打ち上げの結果はハイブリッドロケット到達高度日本記録となる10・1キを達成しました。2014年から打ち上げ試験を始め、2018年に到達高度6・2キと国内第2位の記録を更新後、3年ぶりとなる今回の打ち上げではそれまでの日本記録であった北海道大学・植松電機機の高さ8・4キを大きく更新できたことを大変うれしく思います。一方、打ち上げ高度で日本記録を達成した反面、パラシュートを展開することができず機体を回収できなかったため反省点も残すこととなりました。

今回の打ち上げ試験ではなかなか大学に入構できず、思うような活動ができない中で準備を行いましたが、限られた時間の中でも非常に有意義な経験をする事ができました。私自身現場では発射台の準備を担当し、事前の部品点数

フロンティアサロン紹介

「フロンティアサロン」は、全国どこからでも参加できるようになりました

フロンティアクラブの会員限定の公式YouTubeです。こちらのQRコードから各サロンの講演会をご覧ください。是非、ご覧ください。



第121回
フロンティアサロン
パラマウントベッド
株式会社
常務取締役
坂本 郁夫氏



第120回
フロンティアサロン
国際日本学部
島川 崇教授



第119回
フロンティアサロン
神奈川大学保健
管理センター長
江花 昭一氏

今年度よりフロンティアサロンは、インターネットで参加できるようになり、これまで、距離的な制約のため参加できなかった遠隔地の会員の皆様も参加できるようになりました。また、参加できなかった場合でも、会員限定で、オンデマンドでご視聴いただけます。今回は、遠方からご参加いただいた会員の声をご紹介します。

私が尊敬する先輩の一人で、パラマウントベッド株式会社で活躍の坂本さんがフロンティアサロンで講演されるとの案内を受け、これまでなかなか参加がかなわなかったフロンティアサロンに初めて参加した。

オンラインでの参加は、年齢と反比例するものではなく、マイルドとインフラの問題かと思う。私は日米を行き来する生活をしているが、COVID19の影響であるゆる常識が変わり、今回はオンライン開催とのことで深夜のアメリカ・カリフォルニアからの参加となった。坂本さんの話は会社の戦

の確認や現場での指示等下準備の大切さを学ぶことができたと感じています。

入学してから一度も入構できない中で何か熱中できることはないかと思いつき、宇宙ロケット部に入部しましたが、入学当時の私は、ここまでロケットの開発に携われる

とは思いませんでした。今は勇気を出して入部して良かったと感じています。今後は、パラシユートが展開しなかった原因の究明を進めていくとともに、来年度には到達高度30kmを目指し、活動していきます。(宇宙ロケット部/機械工学科2年/男子学生)

1991年貿易卒

私が尊敬する先輩の一人で、パラマウントベッド株式会社で活躍の坂本さんがフロンティアサロンで講演されるとの案内を受け、これまでなかなか参加がかなわなかったフロンティアサロンに初めて参加した。

オンラインでの参加は、年齢と反比例するものではなく、マイルドとインフラの問題かと思う。私は日米を行き来する生活をしているが、COVID19の影響であるゆる常識が変わり、今回はオンライン開催とのことで深夜のアメリカ・カリフォルニアからの参加となった。坂本さんの話は会社の戦

の確認や現場での指示等下準備の大切さを学ぶことができたと感じています。

入学してから一度も入構できない中で何か熱中できることはないかと思いつき、宇宙ロケット部に入部しましたが、入学当時の私は、ここまでロケットの開発に携われる

とは思いませんでした。今は勇気を出して入部して良かったと感じています。今後は、パラシユートが展開しなかった原因の究明を進めていくとともに、来年度には到達高度30kmを目指し、活動していきます。(宇宙ロケット部/機械工学科2年/男子学生)

春山 貴広 静岡大学 客員教授

海外からフロンティアサロンに参加して想いごと

—コロナが生んだビジネスの主役世代の交代—

略や行政の仕組み、事業の成功体験による話などリアリティがあり、対面講義の熱気を直接感じながら参加した。

生まれた時にスマホがあった今の若い世代は、デジタルが得意なため、ビジネスでも動画を多用し、また出張など移動が出来ないため、その分オンラインで判断が早期化するなど、これも若い世代にアドバンテージがある。

「情報の多い都会で働く」「大企業の信頼がベース」といった従来の価値基準が変わろうとしている。成功の定義も、大企業で活躍する坂本さんのような世界から、身動きの早い小型企業に魅力が集まることになる実感する。ビジネス世界の主役は、オヤジ世代をすり抜け、より若年化するはず。そういう人材が輩出される神奈川大学に期待したい。

たら負けな強さ、目の前の1点を勝ち取りに行く想いの強さで1種目ずつ着実に点を取り、日本代表を多数抱える強豪校を打ち破り二連覇を勝ち取ることが出来ました。

現在、水泳部は日本代表の輩出とインカレ三連覇に向け動き出し



水泳部HP



水泳部ブログ

ています。神大から世界へ挑んで行きます。(水泳部チーフマネージャー/法律学科4年/男子学生)

の確認や現場での指示等下準備の大切さを学ぶことができたと感じています。

入学してから一度も入構できない中で何か熱中できることはないかと思いつき、宇宙ロケット部に入部しましたが、入学当時の私は、ここまでロケットの開発に携われる

とは思いませんでした。今は勇気を出して入部して良かったと感じています。今後は、パラシユートが展開しなかった原因の究明を進めていくとともに、来年度には到達高度30kmを目指し、活動していきます。(宇宙ロケット部/機械工学科2年/男子学生)

世界のビールが味わえるレストラン
学外の方もご利用できます



事務局からの
お知らせ

MMキャンパス1FのVOYAGEがオープン!!

みなとみらいキャンパス1FのレストランVOYAGE(ヴォヤージュ)が本格的にオープンしました。個人的な好み強めで、ご案内いたします(笑)。

席数は150席以上あり、学外の方も利用できます。みなとみらいに来たついでに、会合の前後に、誰かとの待ち合わせに、ご利用してみたいはいかがでしょうか。

メインの洋食アラカルトの他にサイドメニューもあり、お得感もなかなかです。まもなく寿司コーナーの営業も始まるようです。

おすすめは、3種のビール飲み比べセットです。VOYAGEでは毎月、地元神奈川の横浜、茅ヶ崎、横須賀などのクラフトビール6種類が入れ替わりで提供されており、その中のおすすめ3種類のビールを味わえるお得なセットとなっています。それぞれのビールの個性に合わせたおつまみも3種ついていますので、とりあえず、これを頼んでおけば最初のオーダーはバッチリです。グリル料理など単品もなかなかのボリュームがありますので、もう一品追加するだけで十分ゆっくり楽しめます。

世界のビールも常に20種以



3種ビール飲み比べセット

上あり、300円台から味わえます。もちろんソフトドリンクやノンアルコールカクテルも各種ご提供。ティラミスや横浜アイスクリームの盛り合わせなど甘党の人も納得の品揃えとなっています。

同じく1階にはノースリンクカフェも営業していますので、体調とお好みに応じてうまく使い分けて、楽しんでみてください。

フロンティアクラブ 公式LINEができました!!

フロンティアクラブの会員の皆様に「各種のイベント」



や「フロンティアサロン」などのフロンティアクラブの活動のご案内、大学情報、卒業生の活躍などを定期的に即時性をもって発信していきますので、是非ご登録をお願いいたします。

メールアドレスの 収集について

フロンティアクラブで郵送している各案内資料や卒業生の活躍、大学の情報等を会員の皆様にメールにて、いち早くお届けしたいと考えています。そのため、メールアドレスの収集にご協力をお願いいたします。

メールをお使いの方は、以下まで氏名をご記入の上、メールをお送りください。

また、メールアドレスをご変更された場合にも、お知らせいただきますようお願いいたします。

【メールアドレス】

kufc-frontier@
kanagawa-u.ac.jp

村橋・フロンティア奨学金 募金のお願い

「村橋・フロンティア奨学金」は、「学業・人物ともに優れながら経済的な理由により修学が困難な学生」を支援することを目的としており、母校における重要な学生支援制度の一つです。今回、お届けした奨学生の感謝の言葉が心に響きます。今後も皆さま

からのご寄付など温かいご協力を賜りますようお願いいたします。

ご寄付の詳細につきましては、11月にお送りした「村橋・フロンティア奨学金」へのご寄付のお願いと「募金事業だより」をご確認ください。